

区民参加 くらし優先
みんなの区政を前へ

戦争への道許さない

杉並区議会議員
党区議団長

くすやま美紀

樟山 みき

- プロフィール◆1963年福島県喜多方市生まれ。
◆県立若松女子高校、東京観光専門学校卒業。
◆東友会（被爆者団体）、西荻窪診療所等に勤務。
◆1999年杉並区議会議員初当選、現在6期目。

日本共産党



区民の願いにこたえる区政へ

私はがんばります

私が区議会議員に初当選したのは1999年。

それから皆さんに支えられ24年。区民の切実な願いを区に示し、その実現を迫るとともに、区民無視の区政運営には毅然と対決してきました。

そして昨年、ついに前区長に審判が下され、区民の声を大切にする岸本区長が誕生しました。

区政はいま、区民参加、くらし優先へと変わり、区民が願い、日本共産党が提案してきたことが、実現しつつあります。

前区長勢力は、区政の前進を抑えようとしていますが、私は、逆流を許さず、みんなの区政をさらに前へ進めるために、全力を尽くす決意です。



私はめざします

- 区民参加の推進、予算編成へも区民意見を
- 安心して暮らせる杉並へ、国保料の値上げ抑制
- 学校給食費など教育費の無償化を徹底
- 子どもの権利を尊重、児童館を守る
- 高齢者にやさしい杉並へ、ゆうゆう館を守る
- 住民無視の道路計画は見直す
- 気候危機対策、ジェンダー平等の推進

← 一期目の
本会議質問



2022年7月。自転車
で初登庁。多くの
区民に迎えられ
る岸本区長 →



区民の審判で

区政は変わり始めました

妨害を許さず、区民の区政をさらに前に進めるために
私は全力を尽くします。

前区政		岸本区政
情報隠し 開示は黒塗り	→	開示徹底を通知する
区民の意見は無視	→	道路計画も施設再編も 区民の意見を聞き検討
くらし・福祉に冷たい	→	くらし・福祉に温かい
学校給食費値上げ	→	学校給食費値下げ
補聴器助成も、家賃助成 も実施拒否	→	補聴器助成、家賃助成 実施へ準備
高級専用車を乗り回す 移動自粛期間も軽井沢へ	→	専用車廃止 登庁は自転車

自転車で登庁する岸本区長



前区長が区民から厳しい批判を受け、退陣の審判となった事件が、移動自粛を無視した公用車で
の軽井沢ゴルフ場への移動・宿泊です。この問題は、日本共産党が区長公用車の運行記録を独自に調査し判明。共産党の追及はテレビでも紹介されました。

過去にも、区外の都議候補応援に公用車を使ったことを明らかにし、新聞各紙が報道しました。

移動自粛を無視 公用車で軽井沢

共産党の
徹底追及が

区政を動かしました



TBSテレビ「Nスタ」より

訴え続けた

くらし。福祉の提案が実現へ

区議として一番力を入れてきたのが、福祉、くらしへの支援です。私の提案で実施された施策、実施が予定されている施策の一部を紹介します。

●学校給食費値下げへ

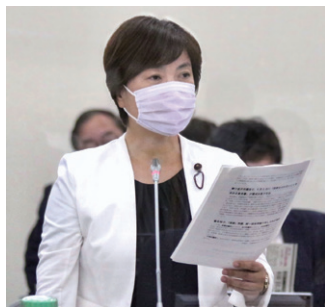
学校給食費値上げにたいし、国の臨時交付金を活用し値下げすることを提案。区は交付金活用の準備に入り、岸本区長が値下げを実行しました。

●家賃助成実施へ

高い家賃に苦しむ方々の実態を示し、家賃助成実施を求めてきました。前区政では「対応してきたい」と答弁。岸本区長は「助成を実施してまいりたい」と答弁。2024年度実施予定。

●高齢者の補聴器購入費助成実施へ

多くの区で補聴器購入費助成が始まっていることを示し、区に実施を迫りつづけてきました。前区政の「検討」から、岸本区長は「検討だけでなく実施に」と答弁。2023年度実施予定。



くすやまさんが主張してきた家賃助成が実施されると聞き、大喜びです。私の場合は家賃は7万円、収入は国民年金の5万円のみ。貯金を取り崩して暮らしていますが不安です。早い実施を待っています。
(80歳女性)

新型コロナ対策

在宅放置を追及

区が在宅患者を結果的に放置した事態を明らかにし是正を迫りました。



テレビ朝日ANN NEWS
くすやま区議の質問場面

息子のことを議会で 取り上げてくださり感謝

家にまで訪ねて経過を聞いて下さり、区議会で取り上げいただきました。ありがとうございました。

(自主隔離先の店舗で、区の支援もなく死亡された方のお母さん)

先駆的な提案が区政を動かす

気候危機

ジェンダー平等

■気候危機

LED切り替えに30万円助成

地球温暖化対策に区が積極的に取り組むよう2回にわたって本会議で質問。私の提案に、区は「研究します」との答弁を連発。その後、マンションや商店等でのLED化に上限30万円助成、森林のある自治体と連携し二酸化炭素吸収促進、区の遊休地での太陽光発電が打ち出されました。



■ジェンダー平等

全学校トイレに生理用品配置へ

性別にかかわらず個人の尊厳が大切にされる杉並区をめざし、ジェンダー平等の取組を本会議で4回質問。昨年10月から全小中学校トイレに生理用品の配置がはじまり、パートナーシップ制度は、2023年度実施に向け準備が進められています。



校則問題も質問



■区内中学23校の校則調査結果

- ・靴下の色の指定14校
- ・肌着の色の指定11校
- ・髪型の規制17校

■小学校「入学のてびき」

- ・筆箱…布製ペンケース不可、キャラクターデザイン不可、ファースナー付き不可（2021年9月現在）

本会議質問で公立小中学校の校則を調べた結果を示し、過度な抑制の見直しを求めました。区は校則は学校と生徒が一緒につくりあげていくことが大切と答弁しました。

私を語る

会津に生まれ

私が生まれ育ったのは福島県の会津・塩川町。家は「よろず屋」（雑貨店）。5人きょうだいの末っ子。

会津若松市内の高校へは、塩川駅まで自転車で15分（冬は雪道を徒歩50分）、さらに会津若松駅から徒歩30分。そんな環境だけに根気強さが培われたと思います。



磐梯山

被爆者団体で

高校卒業と同時に上京。最初に住んだのが西荻でした。専門学校で学んだ後、東友会（東京の被爆者団体）の事務局に入職。被爆者の方々の苦悩、核廃絶の願いに触れ、平和への思いを強く持つようになりました。



小学3年生

なぜ日本共産党へ、議員に

19歳のとき、日本共産党がどんな弾圧にも屈せず、命がけで侵略戦争に反対したたかってきたことに心を打たれ、故・児島せの子さん（元区議）の薦めで党創立60周年の7月15日に入党しました。

区議への要請を受けたのは、西荻窪診療所で働いていたときです。医療や介護の現場で様々な困難に直面するなか、大本にある政治を変えなければと立候補を決意しました。

区議は大変な仕事ですが、区民と力を合わせれば区政を動かすことができる―それがこの24年の確信です。日本共産党員として議員として誇りを感じます。



西荻窪診療所で働いていた頃

趣味は

映画、絵画を観ること。好きな映画は「イル・ポストエーノ」。絵画ではメキシコの画家フリーダ・カローの絵と人生に強い衝撃をうけました。愛読書は原田マハのアート小説。「暗幕のゲルニカ」「太陽の棘」など。



最近ハマっているのは韓国ドラマとお菓子づくり。アップルパイ、レモンケーキなどを作ります。

芸術への思いを込め



佐藤忠良作「ジーンズ」頭部

予算特別委員会で、世田谷区や新宿区は美術館も文学館もあるのに杉並区にはない実態を告発。杉並ゆかりの芸術家と作品を紹介する取組を提案しました。議事録を読んだ芸術家の方から共感のメッセージをいただきました。

議員の発言に賛成

文化都市すぎなみという言葉は以前から聞いていましたが、実態はご承知のとおり。残念に思っています。…議員の発言に賛成します。(日本画家・元美術大学教授)

地域のみなさんと共に

地域課題の取り組みの一部を紹介します。

○あんさんぶる荻窪の財産交換問題を本会議、委員会で13回質問し、存続を迫る

○補助131号線の一方通行を継続させる

○善福寺川周辺の水害対策を求め、貯留施設設置などが実現

○補助132号線道路計画の見直しを求め、再検討へ

○荻窪駅のバリアフリー化

○西荻窪駅北側横断歩道にエスコートゾーン設置

○神明中学校の廃止計画を中止し存続させる

○荻窪団地建替えで特養ホームを設置へ



荻窪・すずらん通りに掲げられた区民の声

何度も追及のくすやまさんに感謝

住民と区が協働でつくったあんさんぶる荻窪。前・田中区長は住民の声を無視して廃止してしまいましたが、くすやまさんは、地域のみなさんの声を届け、何度も前区長を追及してくれました。補助131号線の一方通行維持を求める陳情にも賛同してくれました。くすやまさんの奮闘に感謝しています。

(南荻窪会会長・大林秀雄)

ストップ!

敵基地攻撃、大軍拡、そして大增税

憲法9条踏みじりる戦争国家づくり



「戦争の世紀」とも言われた20世紀。私は、人々の命を奪い、未来を奪った戦争への反省から打ち立てられた憲法9条を守り、いかすことが、21世紀に生きる私たちの使命だと思います。

その反省も忘れ、憲法9条も乱暴に踏みじり、敵基地を攻撃する準備をし、大軍拡のために国民に増税を迫る岸田内閣。首相がしれっとした顔で宣言する「戦争国家づくり」。私は絶対に許しません。

会津には「ならぬことはならぬ」という言葉があります。戦争は絶対に起こしてはなりません。

日本共産党は、非道な弾圧に屈せず、侵略戦争反対を貫きました。私は、その歴史を胸に刻み、みなさんと力をあわせ、杉並から声を発したい。行動を起こしたい。

くすやま美紀webサイト <https://www.kusuyama-miki.jp/>

お困りごとはお気軽にご相談ください。☎080-5531-8236



webサイト↑